

「ひろしまから生まれる音楽物語」

広島にゆかりがある作家と作曲家による音楽物語をお届けします。これまで開催し、大きな反響があったアニメ「ちびまる子ちゃん」音楽物語や絵本「ドームがたり」をブラッシュアップし再演いたします。

新作として、詩人のアーサー・ビナードが創作する「みらい きれい」～いわさき ちひろと見つめる今～に作曲家の中村暢之が音楽で彩りを添えます。作家の那須正幹が遺したヒロシマへのメッセージ「おばあちゃんの詩」を初公開し、装画などを手掛けるイラストレーターの井上朝美が挿絵を描き起こし、世界で活躍する映像作曲家の陣内一真が物語を広げます。また、親交があったアーサー・ビナードが那須正幹の原作から作詞し、作曲家の坪北紗綾香によって歌曲が生まれます。ゲスト演奏者にはBS テレ東「おんがく交差点」でお馴染みの大谷康子 (Vn)、チェロの重鎮 銅銀久弥 (Vc)、日本音楽コンクール覇者の吉見友貴 (Pf)、チェコで活躍する木村紗綾 (Vn) を迎えて開催いたします。アニメ、文学、音楽と映像のコラボレーションコンサート「ひろしまから生まれる音楽物語」をお楽しみください。

第1部 暮らしの物語

アニメ「ちびまる子ちゃん」音楽物語 原作:さくら ももこ 集英社「りぼんマスコットコミックス」 脚本:熊谷那美

作曲・指揮:中村暢之 編曲:坪北紗綾香 ます子(録音):TARAKO ナレーション(録音):キートン山田 選曲:本田保則

演奏:木村紗綾(ヴァイオリン)、宮崎真理子(ヴァイオリン)、松本 麗(ヴィオラ)、向井真帆(チェロ)、守谷みさき(コントラバス)

大林恵美(フルート)、実重華奈(クラリネット)、土井嘉音(オーボエ)、福原恭平(トロンボーン)、重野友歌(ピアノ)、池上栄子(パーカッション)

「みらい きれい」～いわさき ちひろと見つめる今～ 詩・語り:アーサー・ビナード 絵:いわさき ちひろ 作曲・指揮:中村暢之

演奏:藤田真弓(ソプラノ)

木村紗綾(ヴァイオリン)、宮崎真理子(ヴァイオリン)、松本 麗(ヴィオラ)、向井真帆(チェロ)、守谷みさき(コントラバス)

大林恵美(フルート)、実重華奈(クラリネット)、土井嘉音(オーボエ)、重野友歌(ピアノ)、池上栄子(パーカッション)

休憩 ～20分～

第2部 ヒロシマの物語

「おばあちゃんの詩」～児童文学作家 那須正幹が遺したヒロシマへのメッセージ～

作:那須正幹 画:井上朝美 作曲:陣内一真 朗読:アーサー・ビナード

演奏:実重華奈(クラリネット)、銅銀久弥(チェロ)、吉見友貴(ピアノ)

「兄ちゃん」と「ぼく」 原作:那須正幹 詩:アーサー・ビナード 画:井上朝美 作曲:坪北紗綾香

演奏:藤田真弓(ソプラノ)、溝辺恭子(ピアノ)

紙芝居「ちっちゃい こえ」 脚本・語り:アーサー・ビナード 絵:丸木俊／丸木位里「原爆の図」より 作曲:中村暢之

演奏:大谷康子(ヴァイオリン)、銅銀久弥(チェロ)、吉見友貴(ピアノ)

絵本「ドームがたり」 作・語り:アーサー・ビナード 画:スズキ コージ 作曲:坪北紗綾香

演奏:大谷康子(ヴァイオリン)、銅銀久弥(チェロ)、吉見友貴(ピアノ)

作家・作曲家・画家



那須 正幹 (作家) 1942 - 2021

1942年、広島市西区三基本町に生まれる。49年広島市立三基小学校、55年市立庚午中学校、58年市立基町高校に進学、島根農科大学林学科卒業。代表作「ズッコケ三人組」シリーズ全50巻(ポプラ社)。「さき師たちの空」で、路傍の石文学賞、「ヒロシマ」三部作で、日本児童文学者協会賞、「ズッコケ三人組のバック・トゥ・ザ・フューチャー」で野間児童文学賞を受賞(すべてポプラ社)。絵本作品に「ふんとやまトンネル」(童心社)、「ぼくらの地図旅行」(福音館書店)などがある。第23回蔵谷小波文芸賞受賞。2009年度広島市民賞。日本児童文学者協会・日本文芸家協会 日本ペンクラブ会員。「めんたんていサムくん」と なの地図絵(絵筆話(童心社)が2021年10月に出版され、遺作となった。肺炎腫瘍により2021年7月逝去。



中村 暢之 (作曲家)

広島市出身。広島県立観音高等学校卒業。東京藝術大学・作曲科卒業後、スタジオワークを中心に作・編曲としての仕事を開始する。フルオーケストラ編成の楽曲から、シンセサイザー音源制作まで幅広く真にプロフェッショナルな仕事を行う。近年は国内外の著名オーケストラとの多数共演も含め、TV・CD等音楽制作を中心に作曲家・プロデューサーとして多方面にわたり活躍中。主な作品に、NHK連続テレビ小説「おんなは度胸」、TVアニメ「ちびまる子ちゃん」、てとてをつないで(しまじろう)、ひろしまへ(声楽、合唱)などがある。



陣内 一真 (作曲家)

1979年生まれ、広島県広島市安佐南区出身。2003年、パークリー音楽大学卒業。シアトルとロサンゼルスを拠点にTV、映画、ゲームなどの数多くの作品で音楽を担当する。電子音やVt、オーケストラなどを融合させたハイブリッドな作風が特徴。近年ではDisney+「Star Wars Visions: 9人目のジェダイ」や、Netflix「攻殻機動隊 SAC_2045」[ULTRAMAN]をはじめ、戸田信子氏とともに数多くの作品に楽曲を提供しており、映像の表現に沿った作曲技法(フィルムスコアリング)を用いた制作を行っている。2016年に英国アカデミー賞ゲーム部門で音楽賞ノミネートを受ける。



いわさき ちひろ (画家) 1918 - 1974

1918年(大正7)、福井県の武生に生まれ、東京で育つ。東京府立第六高等女学校卒業。藤原行成流の書を学び、絵は岡田三郎助、中谷泰、丸木俊に師事。10ヶ月と1歳の赤ちゃんをモデルなしで描き分けられたといわれる確かなデッサン力と、日本画や中国の山水画に通ずる伝統的な技術に学び、滲みやぼかしを用いた独自の水彩技法で、数多くの子どもを描いた。その願いは、残された「世界中の子どもみんなに平和としあわせを」という言葉に象徴されている。生涯、子どもをテーマとして描き、1974年55歳で没。代表作に、「おふるでちゃがぶちゃん」(童心社)。「あめのひのおるすばん」[「ぼちのきたうみ」(ともに至光社)、「戦火のなかの子どもたち」(岩崎書店)など。



アーサー・ビナード (作家)

1967年、米国ミシガン州に生まれ、五大湖の魚と水生昆虫に親しんで育つ。コルゲート大学で英米文学を学び、卒業と同時に来日、日本語での詩作を始める。「釣り上げでは」(思潮社)で中原中也賞、「ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸」(集英社)で日本絵本賞、「さがしています」(童心社)で講談社出版文化賞絵本賞、「ドームがたり」(玉川大学出版部)で日本絵本賞、第32回谷本清平和賞を受賞。「アニメ放送・戦後75年スペシャル封印された真実～軍属ラジオ」が、第58回「ギャラクシー賞」ラジオ部門大賞。その他の作品に、丸木俊と丸木位里の大連作「原爆の図」をもとにした紙芝居「ちっちゃいこえ」(童心社)、三段蹴り織田幹雄の活躍を描いた「そもそもオリンピック」(玉川大学出版部)などがある。



坪北 紗綾香 (作曲家)

呉市出身。エリザベト音楽大学卒業、同大学大学院修了。ミュージカルや合唱曲、吹奏楽等、様々なジャンルの作品多数。音楽コンクール審査員ほか、ゲスト講師、声優アカデミー講師などを務める。代表作は、福山ばら祭テーマソング「心に咲く花」(作詞作曲・歌)。合唱組曲「原爆ドーム、女声合唱とピアノのための」「金子みすゞ童謡全集より八つの詩」をブレンミュージックより出版。現在、エリザベト音楽大学講師。(ミュージカル・音楽づくり・幼児音楽教育)



スズキ コージ (画家)

1948年、静岡県生まれ。絵本や画集、舞台美術、壁画、ライブペインティングと多方面に才能を発揮する。「エンソくん きしゃにのる」(福音館書店)で小学館絵画賞、「ガラスめだまときんのつものやぎ」(福音館書店)と「やまのディスコ」(架空社)で絵本にっぼん賞、『おぼなドライブ』(ピリケン出版)で講談社出版文化賞絵本賞、「ブラッキンダー」(イースト・プレス)で日本絵本賞大賞を受賞。「ドームがたり」(玉川大学出版部)で日本絵本賞を受賞、第6回JBBY賞(絵本ストレーション作品の部門)を受賞。2020年2月出版の「そもそもオリンピック」では「ドームがたり」に続いて詩人アーサー・ビナードの著書の作画を行った。<玉川大学出版部HPより>



大谷 康子 (ヴァイオリン)

2022年にデビュー47周年。これまでにソロ活動はもとより、国内外の著名なオーケストラと多数共演。BS テレ東「おんがく交差点」では司会・演奏を務める。著書に「ヴァイオリニスト 今日も走る!」(KADOKAWA)がある。CDも多数。文化庁「芸術祭大賞」受賞。(公財)練馬区文化振興協会理事長。使用楽器はピエトロ・グアルネリ(1708年製)とストラディヴァリウス「ウィルヘルミ」(1725年製/日本音楽財団貸与)。東京音楽大学教授、東京藝術大学講師。オフィシャル・ホームページ: http://www.yasukoohtani.com【公式YouTube】「大谷康子のやっこチャンネル」演奏動画続々公開中!



吉見 友貴 (ピアノ)

2000年生まれ。高校2年在学中、第86回日本音楽コンクールで最年少優勝を果たす。4th Manhattan International Music CompetitionにてSilver Medalを受賞。CHANEL Pygmalion Days 2019年度アーティスト。これまでに東響、日本フィル、東京シティ・フィル、東フィル、新日本フィル、神奈川フィル等と共演。現在、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに特待生として在籍。アメリカのニューイングランド音楽院に留学中。上野久子氏に師事。2019・2020年度ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生。2021年、エリザベト王妃国際音楽コンクールセミファイナリスト(通常開催であれば、ファイナリスト)



宮崎 真理子 (ヴァイオリン)

常盤木学園高等学校音楽科特待生を経て広島大学教育学部第四類音楽文化系コースを実技学長推薦1位で卒業。パッハホール音楽コンクール未来賞、大阪国際音楽コンクール入選。仙台フィルハーモニー管弦楽団員とコンチェルト共演。渋谷由美子、光永俊彦、高旗健次、久谷田緑の各氏に師事。アンサンブル・アカ、アンサンブル・コントラプントに所属。中国地方を中心に演奏活動、後進育成を行っている。



向井 真帆 (チェロ)

広島県廿日市市出身。愛知県立芸術大学音楽学部を卒業。同大学大学院博士前期課程修了。在学中、ドイツのケルン音楽大学へ留学。第11回ペーテン音楽コンクール全国大会第1位。第10回セシリア国際音楽コンクール室内楽部門第3位。第22回さくらびあ新人コンクール廿日市市教育長賞受賞。これまでにチェロをマーティン・スタンツェライト、花崎薫、H.C. シュヴァイカーの各氏に師事。現在広島を拠点にソロ、アンサンブル、オーケストラの客演など幅広く演奏活動を行っている。エリザベト音楽大学非常勤副手。あきクラシックコンサート実行委員会委員。



大林 恵美 (フルート)

くらしき作陽大学音楽教育学科音楽療法専修を卒業。在学中は、特待生として学ぶ。その後渡仏し、パリ・エコール・ノルマル音楽院フルート科コンサーティスト課程、パリ地方音楽院室内楽科コンサーティスト課程を卒業。帰国後は、県内外のコンサートに多数出演。また、東広島芸術文化ホールくらの登録アーティストとして市の音楽啓発事業に携わるなど、文化の促進、後進の育成にも務めている。2014年/リ・プロデュージュ・アートコンクール第1位。2015年フランス・クレドール国際コンクール第3位。これまでにフルートを森川文絵、末原諭宜、工藤重典、工藤雅子、キャトリヌ・カンタン、ミシェル・モラゲス、室内楽をクロード・ルロン、エマニュエル・シュトロッセの各氏に師事。



実重 華奈 (クラリネット)

エリザベト音楽大学卒業。同大学卒業演奏会に出演。クラリネットを清水美保、田中晴子、武田忠善の各氏に師事。現在、広島ウインドオーケストラクラリネット奏者。



井上 朝美 (イラスト)

広島市立大学芸術学部 視覚造形卒業。広島市在住。約9年間、自動車メーカーのMAZDAでカラーデザイナーとして働いた後、フリーのイラストレーターになる。手描きで温かみのある和の作風を得意とし、CDジャケットデザインや絵本、書籍の装丁画、挿絵等を手がける。

ゲスト



銅銀 久弥 (チェロ)

広島市出身、桐朋学園大学卒業。桐朋学園オーケストラ、広島交響楽団のソリストとして共演。読売新人演奏会、広島市新人演奏会出演。NHK交響楽団入団後、フォアシュビラーを務めた。さくら弦楽四重奏団、チェロ四重奏団「ラ・カールティーナ」など室内楽も多数取り組み、ソロ活動では、CD「バンペアーナ」が好評を得ている。桐朋学園大学院大学教授、洗足学園大学非常勤講師。



木村 紗綾 (ヴァイオリン)

広島市出身。15歳で単身チェコに渡り、ブラハ音楽院に学ぶ。第50回コソヴァン国際ヴァイオリンコンクール第1位、第2回ヴィツラフランカ・ディ・ヴェローナ国際コンクール第1位、併せて聴衆賞を受賞するなど国内外のコンクールで入賞。チェコフィルハーモニー管弦楽団オーケストラアカデミー修了。これまでに指揮者大植英次氏を初め、広島交響楽団やチェコにてオーケストラと多数共演。2020-21年度チェコ国立ピルゼンフィルハーモニー管弦楽団アシスタント・コンサートミストレスを歴代最年少で務める。現在チェコフィルハーモニー管弦楽団、ブラハ交響楽団などの客演奏者として活動する他、ソロ・アンサンブルなど国内外で幅広く活動を行っている。



松本 麗 (ヴィオラ)

千葉県出身。島根県育ち。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽科を卒業。在学中に成績優秀者による student's concert に出演。同大学、大学院を卒業。在学中にヴィオラ科に転向。これまでにヴァイオリンを須貝万紀、高旗健次、長谷川夕子、田澤明子、故名倉淑子、ヴィオラを故岡田伸夫、室内楽を山崎伸子、磯村和英、各氏に師事。現在、都内のオーケストラにエキストラとして出演するなど、フリーランスとして活動している。



守谷 みさき (コントラバス)

エリザベト音楽大学卒業。これまでにコントラバスを徳原正法、室内楽を甲斐摩耶の各氏に師事。第22回万里の長城杯国際音楽コンクール弦楽器一般Aの部・第4位、第5回K弦楽器コンクール・優秀賞、第3回日本奏楽コンクール弦楽器部門一般Aの部・審査員奨励賞、第21回大阪国際音楽コンクール弦楽器 Age-G入選。



土井 嘉音 (オーボエ)

広島県出身。12歳よりオーボエを始める。これまでにオーボエを板谷 由起子、和久井 仁、小畑 善昭、吉井 瑞穂、池田 昭子の各氏に師事。S.モワネ氏のマスタークラス、D.ヨナス、M.ブルグ、H.シエレンベルガー 各氏のレッスンを受講。第29回 全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会 奨励賞。第25回 日本クラシック音楽コンクール全国大会 第5位(1位、2位なし)。第32回 中国ユース音楽コンクール管楽器部門 最優秀賞受賞にて記念演奏会に出演。広島城北中・高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。



福原 恭平 (トロンボーン)

広島文化短期大学(現広島文化学園大学)音楽学科卒業。東京ミュージック&メディアアーツ尚美ディプロマコース修了。2006年、オーディションに合格し、アメリカンウインドシンフォニーオーケストラに参加。翌2007年、同オーケストラに首席トロンボーン奏者として招聘されアメリカ各地で演奏活動を行う。マイタウン広島 in 安芸区において広島交響楽団とトロンボーン協議会を共演。ソロリサイタルの開催他、ソリストとして様々な吹奏楽団とも共演している。現在、広島ウインドオーケストラ副首席トロンボーン奏者、あきクラシックコンサート実行委員会委員、ハママツ楽器音楽教室講師、東広島市くらしジュニアオーケストラ講師。これまでにトロンボーンを小林泰一郎、吉川武典各氏に師事。